

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 若狭町社会福祉協議会	代表者	会長 山崎 和男	法人・事業所の特徴	『笑顔を導く応援団』を理念とし、ご利用者様・ご家族様・地域の皆様の笑顔を引き出すようチーム一丸となって運営している。 ひとり暮らし、高齢者世帯が多い地域性のなか、通い・訪問・泊まりサービスを組み合わせ、在宅維持に力を入れている。 地域行事や地域交流に積極的に参加し、利用者様の地域との繋がりが途切れないようサポートしている。
事業所名	小規模多機能ホーム ほたる熊川宿	管理者	山本 真輔		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	人	(1)人	人	3人	2人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問、泊まりサービスの希望を受け入れるための人員体制が不十分であったため、体制を充実させ、より在宅での生活を支えられるような運営を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員体制の充実に取り組み職員不足については解消された。</li> <li>一人ひとりへの関わりも十分とは言えないが改善されていると感ぜられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人員も補充されるなど目に見える改善もあり十分できているように感じられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所全体のスキルアップのために内部研修を実施し利用者様一人ひとりの関わり強化に努める。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方がより入りやすい環境をつくる。</li> <li>地域と福祉のつなぎの窓口的な役割を担えるよう目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用やその他のサービスについての相談はあったが多いとは言えない。</li> <li>入りやすい雰囲気にはなつたと感ぜられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外から見ていても来ている人は居心地がいいんやろうなと感ぜる。</li> <li>行きたくないとも言わないし『行かんなん』と言って行つてくれている。</li> <li>なかなかみんな忙しいし1～2時間も来にくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通じて月1回程度は地域交流室を地域の皆様に利用していただけるよう周知活動し事業所に入りやすい工夫も検討する。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり委員会への積極的な参加を目指す。</li> <li>地域の各種団体と関わりを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事等には積極的に参加はしたが改善計画にあるような関わりは十分にはできなかった。</li> <li>小学校との福祉交流授業、車いす体験の出前授業に協力させていただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域でもまだ知らない方はいる。</li> <li>老人会など会合ではあまり話題には出ないが家での話では話題に上がることはある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事等で施設開放を積極的に実施し、情報の発信や地域の方との交流を図る。また、行事にも積極的に加わることで地域との関わりを深める。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほたる熊川宿で利用者様を支えつつ、ご近所の方にも利用者様の暮らしを支えて頂けるような声掛けをする。</li> <li>・何かあればその都度組長への連絡が取れるような体制を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様に何かあれば了解をいただいたうえでご近所の方に連絡をさせていただいたが、組長にまで連絡をするような事項は無かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の敬老会では利用者様への関わりを見て取れた。</li> <li>・地域の気がかりな方への関わりができていないというが、ここだけではなく民生委員さんや地域の方の支援も必要だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様一人ひとりの地域での関わりを再確認し、地域との繋がりを途切れないよう適度にかかわっていける方法について検討し実施していく。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議内で出た気がかりな方の経過を見つつ、必要に応じて地域住民またはほたる熊川宿が関わっていく方法を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気がかりな方への関わりが十分できたとは言えない。</li> <li>・地域へ出向いて気がかりな方と関わっていく方法については十分な検討ができなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気がかりな人でも人と関わることに気が進まない人もおられるので人によっては見守るだけでも良い方もいると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議にてより具体的な話を出し合い行動につなげる。</li> </ul>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間連絡体制がとれている事を周知する。</li> <li>・災害時の避難受け入れ先として地域に周知していくための方法を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災計画に積極的に参加したが改善計画についての周知が十分にできたとは言えない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災、災害について、これから、ひとり暮らしの認知症の方などが出てこられたら相談してもよいか？誘い上手がいると聞いているもので。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災計画に積極的に参加し事業体制などを周知していく。</li> <li>・災害時の避難受け入れ先として機能するために必要な事項について検討する。</li> <li>・防犯対策についての対策の検討。</li> </ul>

